

市報やまぐち

2011

5/1

May
No.134

WEB サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/>

携帯サイト <http://www.city.yamaguchi.lg.jp/keitai/index.html>

e-mail koho@city.yamaguchi.lg.jp



おいでませ! 山口国体

あと 153 日

おいでませ! 山口大会

あと 174 日



山口市の収支状況
平成22年度下半期財政公表 P.2



薫風をうけて悠々と
仁保川のこいのぼり

より親しみやすく、正確で躍動感のある
市報を目指し、今号から「市報やまぐち」
のロゴをリニューアルしました。

山口市の 収支状況

平成22年度
下半期
財政公表

市の予算がどのように執行されているか、平成22年度下半期（平成22年10月1日～平成23年3月31日）の財政状況をお知らせします。

※一般・特別会計とも、会計年度は4月1日から翌年の3月31日までですが、平成23年5月31日までは現金の出し入れがあるため、収入・支出済額は今後異なってくる予定です。

■問い合わせ 市財政課
(☎083・934・2750)

◆一般会計

当初714億円であった市の一般会計予算は、その後、追加・減額補正を行い、3月末現在で総額750億2533万円（対当初予算比5.1%増）となりました。

【主な増額予算】
・小中学校耐震化事業費：24億8214万円



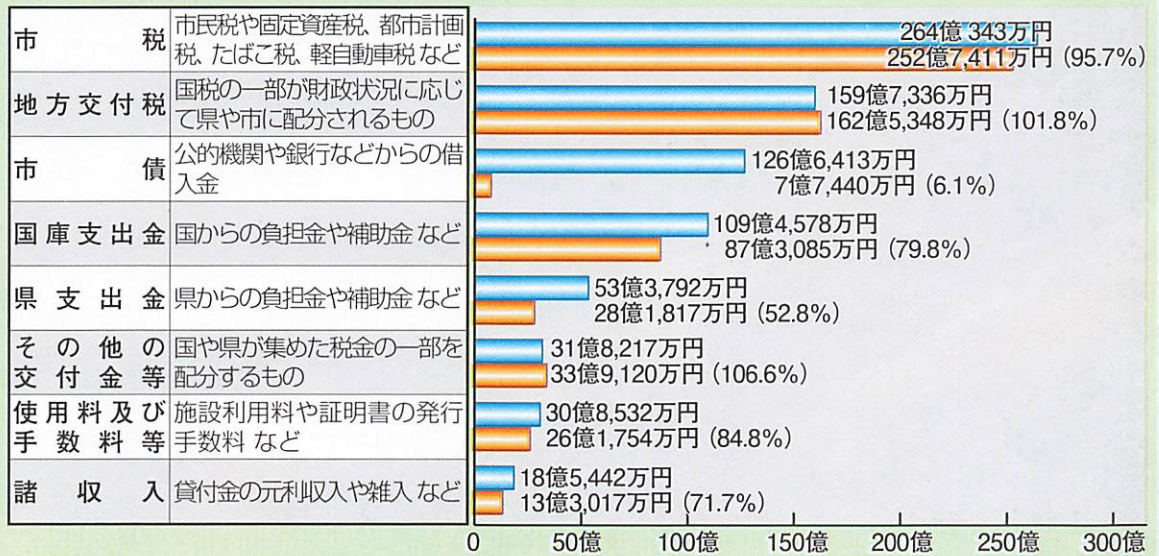
補強工事が完成した阿東東中学校
(平成21年度事業)

① 一般会計の収支状況（3月末現在）

※予算現額には、平成21年度からの繰越額44億2,120万円を含んでいます。

歳入

…予算現額
…収入済額
【収入済額合計】
611億8,992万円
(収入率77.0%)

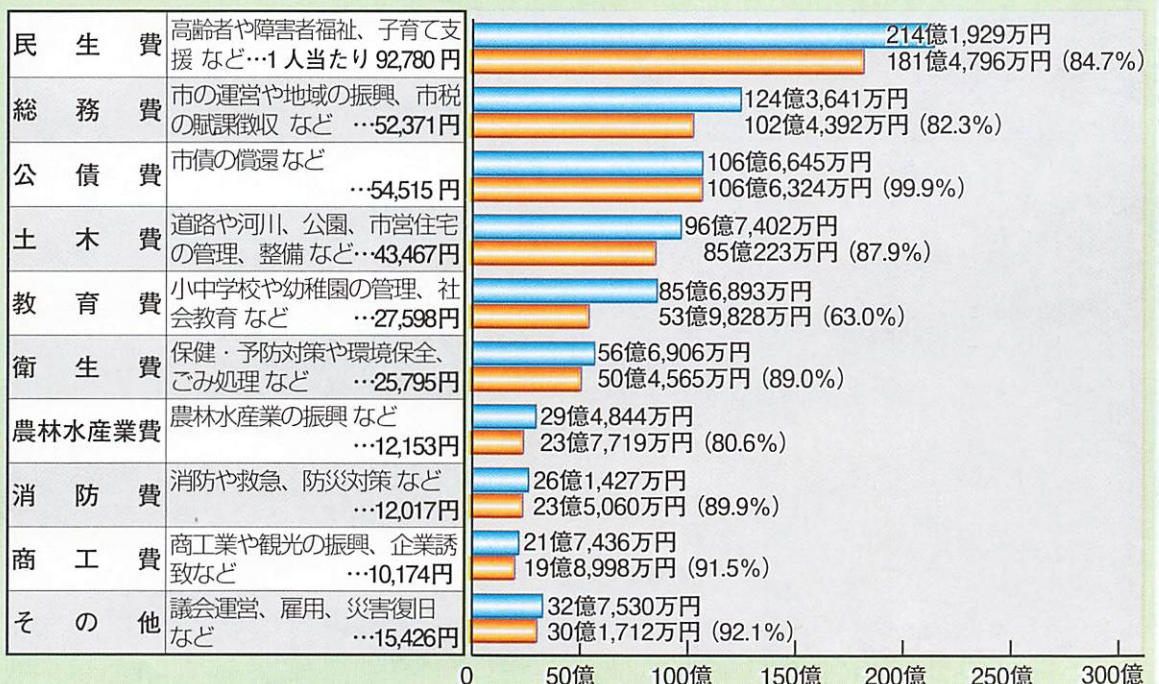


※その他の交付金等には、地方譲与税、利子割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金を含んでいます。

※使用料及び手数料等には、使用料及び手数料、分担金及び負担金、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金を含んでいます。

歳出

…予算現額
…支出済額
【支出済額合計】
677億3,617万円
(支出率85.3%)



※「その他」には、議会費・労働費・災害復旧費・予備費を含んでいます。

1人当たり
予算執行額
346,296円

・災害復旧費：7億4606万円

・障害福祉サービス給付事業費：2億1314万円

・新山口駅ターミナルパーク整備事業費：1億600万円

・予防接種事業費（子宮頸がん・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン）：6880万円

3月末の収支状況は、下記①の通りです。



元気に遊ぶ子どもたち

◆特別会計

特別会計は、国民健康保険事業など、特定の目的をもって事業を行う場合に、一般会計と区別して経理するための会計です。

3月末の収支状況は、下記②の通りです。

◆市債

平成22年度末の市債残高見込みは、下記③の通りです。

※「1人当たりの予算執行額」の数値の算出は、平成23年4月1日現在の人口である19万5602人を参考にしています。

※予算は千円単位ですが、見やすさのため、万円単位で記載しています。

これから5年間の「市財政運営健全化計画」を策定しました

行財政改革をさらに進めます

市では、今年度から平成27年度までの5年間に、

- ①持続可能な財政基盤の確立
- ②最少の経費で最大の効果の実現
- ③説明責任の推進

を基本方針に掲げ、中期財政計画等を明らかにしながら、財政健全化に向けた具体的な取り組みを進めます。

今後とも、市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、職員が一丸となって徹底した行財政改革に取り組みます。

■基本方針の内容

【①について】

- ・歳入規模を基本とした予算編成を進めます。
- ・合併による財政支援措置がなくなる平成33年度以降を見据えた対策に取り組みます。

【②について】

- ・すべての事務事業について、市民ニーズや事業効果等から事業の優先度や実施主体、実施方法などを常に検証し、事業費の削減や成果向上に取り組みます。

【③について】

- ・本市の資産状況や財政状況、財政見通し等を分かりやすく公表し、市民のみなさんと情報の共有化を図ります。

詳細は、市ウェブサイト（表紙参照）でご確認いただけます。

山口市財政運営健全化計画

検索

② 特別会計の収支状況（3月末現在）

※予算現額には、平成21年度からの繰越額1億5,910万円を含んでいます。

項 目	入			出		
	予算現額 (万円)	収入済額 (万円)	収入 済率 (%)	支出済額 (万円)	支出 済率 (%)	一人当 たりの予算 執行額(円)
国民健康保険	181億4,868	148億9,524	82.1	167億8,441	92.5	85,809
後期高齢者医療	23億992	21億1,794	91.7	20億6,898	89.6	10,578
老人保健医療	1,713	1,653	96.5	1,532	89.4	78
介護保険	138億5,199	109億570	78.7	123億6,720	89.3	63,227
介護サービス事業	1億735	9,858	91.8	9,705	90.4	496
土地取得事業	8,178	8,178	100.0	8,178	100.0	418
駐車場事業	4,979	4,524	90.9	3,052	61.3	156
小郡駅前第三 土地区画整理	4億9,608	0	0.0	4億9,093	99.0	2,510
簡易水道	2億8,759	8,408	29.2	2億7,380	95.2	1,400
農業集落排水	10億507	2億1,733	21.6	9億3,338	92.9	4,772
漁業集落排水	1,644	535	32.5	982	59.7	50
地域下水道	679	307	45.2	473	69.7	24
国民宿舎	3,623	3,017	83.3	3,017	83.3	154
特別林野	1,378	980	71.1	983	71.3	50
合 計	364億2,862	285億1,081	78.3	331億9,792	91.1	169,722

③ 市債等の状況（3月末現在）

区 分	平成22年度末 現在高(万円)	1人当たりの 現在高(円)
一般会計	803億6,399	410,855
特別会計	62億5,854	31,996
合 計	866億2,253	442,851
上記に 対する 利息	99億5,076	50,872
一時借入金	0	0

※昨年度の1人当たりの現在高 448,090円

市債は国の赤字国債と異なり、学校や道路、公園などを整備するための目的を持った借入金です。

長期間にわたって使用するこれらの施設に対し、建設時だけでなく後年度に使用する方にも負担を求めるとして、世代間の負担の公平を図るという効果も有しています。

市では、返済計画に配慮しながら将来の世代に過度な負担を残さないよう、国の財政支援措置がある市債を有効に活用し、実質的な現在高の抑制などに取り組んでいます。

市民一人ひとりの人権が尊重されたまちをめざして

「山口市人権推進指針」策定

この指針は、本市の人権施策を推進するための方向性や方策等を示すものです。市では今後「市総合計画」に基づく部門別基本計画等の推進に当たって、本指針の趣旨に沿って取り組んでいきます。

問い合わせ 市人権推進課 (☎083・934・2867)



【概要】

指針の期間

平成23年度から平成29年度までの7年間

人権施策の推進

・人権を尊重した行政の推進
市におけるあらゆる行政分野で、人権尊重の理念を基礎とした取り組みを進めます。

人権教育・啓発の推進

・家庭、地域、職場、学校などにおいて、人権教育・啓発活動を総合的かつ効果的に進めます。

分野別施策の推進

・女性、子ども、高齢者、障がい者、同和問題、外国人、感染症患者等、ハンセン病問題、罪や非行を犯した人、その他の人権問題という分

野を設定し、それぞれの分野の中で施策推進に取り組みます。

人権施策の推進体制等

推進体制

・市人権施策推進審議会、市人権推進本部会議、市人権教育推進委員会を活用して人権施策を進めます。

国、県等との連携

・国、県等の行政機関および民間団体等と連携・協力して人権に関する取り組みを進めます。

相談、支援体制の充実

・相談機関の充実や周知、ネットワーク化など連携強化の取り組みを進めます。

※詳細は、市のウェブサイト（表紙参照）でご覧いただけます。

■キーワード

市政のあらゆる分野で人権の尊重を基調において人権に関する取り組みを進めるため、次のキーワードに基づき諸施策を推進します。

いのち（生命）

市民一人ひとりが、かけがえのない尊い「いのち」を大切にする地域社会の創造をめざします。

じゆう（自由）

市民一人ひとりが、自由で多様な価値観を尊重する地域社会の創造をめざします。

びょうどう（平等）

市民一人ひとりが、社会の一員として等しく参加・参画できる地域社会の創造をめざします。

きょうどう（協働）

市民一人ひとりが、相互に理解・尊重し共通の目的に向かい共に取り組む地域社会の創造をめざします。

持続可能な地域社会の形成のために

市定住自立圏共生ビジョンを策定しました

■問い合わせ 市企画経営課 (☎083-934-2728)

詳細は、市ウェブサイト（表紙参照）で閲覧できます。

「サイト内検索」から **定住自立圏共生ビジョン** 検索

定住自立圏構想とは？

安心して暮らせる地域を全国の各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止め、地方圏への人の流れを創出するため、国では「定住自立圏構想」を策定し、定住自立に向けた取り組みを推進しています。



これまでの取り組み

「集約とネットワーク」の考え方に基づく定住自立圏構想は、1市5町が合併し、1,000平方キロメートルを超える広大な市域の中で、都市部と農山漁村地域が役割分担しながら連携を強め、地域力の強化と定住促進に取り組む、本市のまちづくりの方向性と重なり合うものです。そこで市では平成22年9月、定住に必要な生活機能の確保や自立していくための地域経済基盤の整備に向け、それぞれの地域が相互に役割分担しながら連携して取り組む方針を定めた「定住自立圏形成方針」を市議会の議決を経て策定しました。

また、平成23年3月30日に定住自立圏の確立に向けた具体的な取り組み内容を定めた「定住自立圏共生ビジョン」を策定しました。

今後の取り組み

【都市核の機能強化と地域を結ぶネットワーク形成】

- ・山口・小郡都市核の都市機能に磨きをかけるとともに、機能の集約を行い、拠点性を高めます。…**中心市街地活性化対策事業、湯田温泉まちなか整備事業、ターミナルパーク整備事業** など
- ・農山漁村地域の生活機能を確保するとともに、豊富な地域資源を活用した産業基盤づくりを行います。…**地域ぐるみ子育て支援推進事業、特産品開発等支援事業** など
- ・交通やICT（情報通信技術）等を活用したネットワークづくりを行います。…**コミュニティタクシー運行促進事業、暮らしの潤い確保対策事業** など

【協働によるまちづくり】

- ・行政、住民、各種団体が相互に支え合う仕組みづくりを行います。…**地域交流センター建設事業、地域の個性を活かす交付金事業** など

今年度からの5年間で、医療、福祉、産業、交通などの各分野において83の事業に取り組んでいきます。

※定住自立圏共生ビジョンを策定した圏域の取り組みに対し、特別交付税措置（年間6,500万円程度×5年）や、国庫補助事業の優先採択等が講じられる予定です。



竹下暁子さん

京都芸術センター、京都造形芸術大学舞台芸術研究センターで舞台制作等に関わり、2008年4月から YCAM へ。

塩見直子さん

滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール（大津市）で主に演劇・ダンス公演の企画を行い、2009年4月から YCAM へ。

Local

YCAMの
舞台芸術（身体表現）

「作品をつくる」

YCAMでは、既存の優れた作品を紹介するだけでなく、アーティストとYCAMのスタッフがアイデアを出し合い、メディア技術を取り入れることによって、先駆的で、より深く、力強いメッセージのある作品を共同で制作することにも力を入れています。先日、フランスの文化施設関係者が来館



Global ↔ YCAM ↔ Local

このコーナーでは、最先端技術をつかって表現の可能性を追求し、新たな価値を国内外に発信し続けるYCAMの取り組みを紹介していきます。

「ダンス、演劇、身体表現」の場、YCAM

ダンス公演や演劇などの身体表現にもメディア技術を取り入れ、新たな表現方法にチャレンジするYCAM。今回は、舞台公演の企画・制作を担当する竹下暁子さんと塩見直子さんにお話を聞きました。

■問い合わせ 市広報広聴課

(☎083・934・2753)

Local
↔
Global滞在制作の魅力
―山口から世界へ―

今年2月に発表した新作ダンス公演「HOLISTIC STRATA」は、振付家・ダンサーの梅田宏明さんが山口に約2カ月滞在して制作した作品で、滞在中は「バックステージツアー」（参加者が舞台機構や音響、照明などの装置に触れたり



バックステージツアーの様子

公共文化施設の使命は、大きな意味での「ひとつくり」だと思っています。YCAMを介して、多くの市民のみなさんが色々な作品やアーティストと出会い、互いの感性を高め合えるような事業を展開していきたいです。そんな出会いを、質の高い作品づくりにつなげ、国内外から「山口ってすごい」と評価されるよう頑張ります。

Local
↔
Global

人と人との出会いを大切に

公演当日はツアーに参加した子どもたちも見て来て、終演後、舞台に向かつて「面白かったよ！」と声を掛けてくれたときは、作品がアーティストとYCAMだけでなく、山口で出会ったみなさんとの共同作業で生まれたことを実感しました。この作品は、3月にフランスの劇場「メゾン・ド・クレティユ」（パリ）で再演され、続く他市での公演にも150人もの舞台関係者が集まるなど、高い評価を得ています。

説明を聞いたりしながら舞台裏を見学する企画）を開催して、梅田さんの作品が創られる過程を紹介しました。

ツアーには多くの子もたちが参加してくれましたが、梅田さんのお話や作品にとっても興味を持ってきて、梅田さん自身も子どもたちとの出会いに大きな影響を受けたようでした。



公演「HOLISTIC STRATA」

アンドロイド演劇「さようなら」／ロボット演劇「働く私」（脚本／演出 平田オリザ氏）

舞台設定はロボットと人間とが共生する日常。「ロボット」の存在を通じて「コミュニケーションとは？」「人の心とは？」といった問いかけがされています。YCAMならではのオリジナルイベントも開催します。

共演する
「wakamaru」

■日時

6月18日（土）19時開演
19日（日）14時開演

■場所

スタジオA [全席自由]

■料金

前売…一般 1,300円ほか
（エニ会員割引あり）
※未就学児入場不可

チケットインフォメーション ☎ 083-920-6111

■YCAM オリジナルイベント

観客のみなさんが、より作品に近づいていただく企画を行います。

演劇とロボットの最新関係に迫る「ポストトーク」

■日時 6月18日（土）終演後

平田オリザさんと、石黒浩さん（ロボット研究者）が作品の制作の裏話やロボット研究の様子についてお話しします。

ロボットに出会える、交流する「アフターアワーカフェ」

■日時 6月19日（日）終演後

作品「働く私」に登場するロボット「wakamaru」と共演俳優らが登場。ロボットを身近に体験できます。

市政トピックス

「市中央消防署徳地出張所」を開所、市内全域が市消防本部直轄に

4月1日、市中央消防署徳地出張所を開所しました。

同出張所の開所により、これまで防府市に委託していた徳地地域の消防業務が市消防本部の直轄となり、平成17年の新市発足以降進めてきた、阿知須・秋穂・徳地地域の委託解消が完了し、市内全域を市消防本部が管轄します。

4月2日の開所式で市長は「市内全域を管轄区域とすることで、消防業務の応援態勢が整い、救急・救助体制の高度化を実現することができた。今後

もさらなる防災対策の充実強化を図っていきたい」と抱負を述べました。



開所式での除幕の様子

市では今後も、市民のみなさんの安心・安全のための取り組みを進めていきます。

市消防本部消防総務課
(☎0833-9332・2600)

「宮野つどいの広場あね」オープン

「宮野つどいの広場」運営協議会が地域の子育て活動の拠点として整備を進めていた「宮野つどいの広場あね」が3月28日に運営を開始しました。

この施設は、市次世代育成行動計画（平成21年3月策定）の重点事業のひとつ「地域型つどいの広場設置助成事業」により、市民と行政が協働して地域における子育て環境の充実を図る目的で設置され、市内で6カ所目となります。

「あね」という名称は、宮野地区社協子育てサロンの愛称を引き継いだも

ので「あね」から始まる親子の会話を通して生まれる絆を大事にしていきたいという思いが込められています。

「宮野つどいの広場あね」

- 開館日時 月・水・金曜10時～15時
- ※祝祭日、お盆、年末年始を除く
- 利用料 1家族1回100円
- 場所・問い合わせ 宮野下30029
・☎0833-9200・9203

市子ども家庭課

(☎0833-9334・2767)

山口情報芸術センター内 軽食喫茶室への出店者を募集します

山口情報芸術センターや中央公園を利用されるみなさんの利便性の向上を図るとともに、当該施設をより一層魅力あるものとするため、軽食喫茶室への出店者を募集します。営業条件や申し込み方法など、詳しくはお問い合わせください。

■主な応募資格

飲食関連サービスの経営ノウハウを持ち、山口情報芸術センターのサービスの一翼を担っていた方（県内外、法人個人を問わず応募可能）

■主な営業条件

- ・営業品目 山口情報芸術センターにふさわしい飲食、喫茶等の提供（テイクアウト可）
- ・営業者負担費用 使用料…月額23万7,300円／光熱水費…実費

■選考方法

- 第1次選考（書類審査）
- 第2次選考（プレゼンテーション審査等）

■受付期間

5月6日（金）～6月10日（金）

【現場確認】

■期間 5月9日（月）～30日（月）※要申し込み

■申し込み・問い合わせ

市文化政策課（山口総合支所 ☎083-934-2717）
※詳細は、市ウェブサイト（表紙参照）にも掲載

「平成23年第1回市議会定例会」を開催

2月28日～3月25日の間「平成23年第1回市議会定例会」を開催しました。

市長は、新山口駅ターミナルパーク整備、消防業務の委託解消に向けた取り組み、企業誘致など市政概況を報告し、平成23年度の予算編成方針を説明しました。

また、市長は平成23年度一般会計予算、平成22年度一般会計補正予算、

新山口駅南北自由通路及び新山口駅橋上駅舎工事委託に関する協定の締結の議案のほか、最終日に追加議案として東日本大震災に関連した災害見舞金などを平成22年度一般会計に追加する補正予算を提出し、審議の結果、合計50件の議案と4件の諮問は、すべて可決されました。

市議会事務局
(☎0833-9334・2854)

すすめています 協働のまちづくり

このコーナーでは、「心豊かに暮らし続けることができるまちづくり」「市民が誇りを感じるまちづくり」の実現にむけて推進する「協働のまちづくり」のさまざまな取り組みをお伝えします。

陶連合自治会の取り組み

地域外の専門的な視点で地域を活性化

■問い合わせ 市協働推進課 (☎0833-934-2766)

陶地域では平成20年4月に、集落自治会と地区内の各種団体等で「陶連合自治会」を設立。今回は、「できることから無理をせず」「活動しながらよりよいものを」を合い言葉に、地域づくりに取り組む同会の松尾征二会長にお話を伺いました。

■大学と連携「陶づくりセミナー」

誰もが生涯現役で暮らせる地域づくりを目指し、退職した方が地域にかかわる最初の一步、「地域デビュー」をテーマに、昨年、県立大学の坂本俊彦准教授とまちづくりアドバイザーの協力のもと、「陶づくりセミナー」を開催しました。

1回目は、坂本准教授がセカンドライフの生きがいづくりでの地域の大切さについて講演し、その後、互いを紹介し合うことでコミュニケーション力を高めるワークショップを行いました。2回目は、地域の現状をお話しし、ワーク

ショップで自分たちの夢、今後やってみたいことを書き出しました。最終回の3回目は、地域でセカンドライフを楽しむ先輩方に体験談を話してもらい、最後



和やかな雰囲気の間合

はグループで健康づくりや新たな地域イベントについてアイデアを出し合っ、個々の生きがいづくりが地域づくりにつながっていくことを学びました。



アイデアは尽きません

■外部のノウハウを生かして

ひとことに「地域参加」「地域貢献」といっても、具体的にどうすればいいか迷うことばかりですが、今回、大学やまちづくりアドバイザーの客観的な視点が入ったことで、身近なテーマから地域づくりを考える貴重な機会となりました。

■みんなの気持ちを大切に

最近、いろいろな取り組みを通じて、「協力しますので、私たちの団体にも声を掛けてください」とか、「この行事は、このようにしたら、私たちも参加しやすいのですが」などの声が聞かれるようになってきました。多くの地域住民の「地域をもっとよくしていきたい」という思いに支えられ、心をひとつにした「美しい心ふれあう陶」づくりを進めています。

近隣自治体と広報紙で情報を交換しています。



宇部市

山口県埋蔵文化財センター巡回展 in うべ ～発掘された山口～

平成21年度に山口県埋蔵文化財センターが実施した、朝田墳墓群、田ノ浦遺跡、椿遺跡、上り熊遺跡の発掘調査により出土した埋蔵文化財(約200点)に、宇部市内の遺跡や古墳で発掘された埋蔵文化財(約400点)を加えて展示・解説。炭化米、帰化植物など植物とのコラボレーション展示もあります。(入場無料)

■日時 5月14日(土)～6月12日(日)
9時～17時

■場所 ときわミュージアム本館(宇部市野中三丁目4-29)

【ギャラリートークも開催します】

テーマ「宇部市内の主な発掘調査遺跡」

■日時 5月22日(日) 14時～15時30分

■講師 山口県埋蔵文化財センター職員

■問い合わせ 宇部市文化財活用推進室
(☎0836-21-4510)

防府市

【国際博物館の日・記念行事】 毛利博物館 入館料無料

毎年5月18日の「国際博物館の日」には、博物館が社会に果たす役割について広くアピールするためさまざまな行事が行われています。10回目となる今年、毛利博物館では「国際博物館の日」の記念行事を次の通り行います。

■日時 5月18日(水) 9時～17時
※庭園は、有料になります。

■内容

- ・企画展「端午～お殿さまの最新モード～」
- ・テーマ展「毛利家の歴史と文化」
- ・旧公爵家・毛利邸の見学

・講演「毛利元就」

時間 13時30分～15時

講師 柴原直樹氏(毛利博物館館長代理)

定員 40人(要申込 先着順)

※講演の申し込みは往復ハガキで下記へ

■問い合わせ 毛利博物館(〒747-0023 防府市多々良一丁目15-1 ☎0835-22-0001)



市内の魅力を紹介します。

山口市

～こんな1日はどうですか?～

新日本百名山の1つ「東鳳凰山」 1日ハイキングを楽しもう!

「登ってよし」「眺めてよし」の名山です。

◆21世紀の森登山口コースをご提案

頂上まで約2時間のコース。登山道は自然歩道として整備され、途中にベンチもありますので、ご家族での登山にも最適です。

新緑の季節、さえぎるものの全くない山頂からの絶景をぜひお楽しみください。



いい汗をかいた後は、温泉や足湯もお楽しみいただけます。
詳しくは、湯田温泉観光案内所まで
(☎083-901-0150)

■問い合わせ 市観光課
(☎083-934-2810)

お知らせ

● 山口総合支所	〒753・8650	亀山町2・1	☎083・922・4111
● 小郡総合支所	〒754・8511	小郡下郷609・1	☎083・973・2411
● 秋穂総合支所	〒754・1192	秋穂東6570	☎083・984・2121
● 阿知須総合支所	〒754・1292	阿知須2743	☎0836・65・4111
● 徳地総合支所	〒747・0292	徳地堀1744	☎0835・52・1112
● 阿東総合支所	〒759・1512	阿東徳佐中3417・2	☎083・956・0111

軽自動車税の 減免申請はお早めに

心身に障害のある方およびその方と生計を同じくする方が所有する軽自動車等について、一定の要件を満たす場合、申請により税金が減免されることがあります。

なお、今年度から減免の対象となる障害の区分に肝臓機能障害が加わりました。詳細は、市市民税課管理担当へお問い合わせください。

※減免は1人につき1台です。普通車で減免を受けている方は、申請できません。

■申請期限 5月24日(火)

■持参品 納税通知書(5月9日(月)に発送予定)、身体障害者等手帳、運転者の運転免許証、車検証、納税義務者の印鑑

※心身に障害のある方と軽自動車等の所有者および運転者の住民票が別世帯の場合は、それぞれの方の印鑑が必要です。

■申請場所 各総合支所総合サービス課、各地域交流センター(大殿、白

石、湯田、小郡、秋穂、阿知須、徳地、阿東を除く) および分館、市大海総合センター(秋穂東1130・5)
 市市民税課
 ☎083・934・2734

自動車税(県税) 納付のお願い

4月1日現在で普通車を所有されている方には、自動車税がかかります。

4月末に送付している納税通知書で、5月31日(火)までに納めてください。金融機関のほか、コンビニでも納付できます。

山口県税事務所納税課(山口総合庁舎1階 ☎083・925・3111)

高齢者保健福祉実態調査にご協力ください

5月から6月にかけて、各地域の民生委員が対象世帯を訪問します。

■対象 満65歳以上の一人暮らしおよび

び75歳以上の2人暮らしの高齢者世帯、寝たきりの高齢者がいる世帯

市高齢・障害福祉課(☎083・934・2793)、各総合支所

総合サービス課▽小郡(☎083・973・8145)▽秋穂(☎083・984・8023)▽阿知須(☎0836・65・4114)▽徳地(☎0835・52・1121)▽阿東(☎083・956・0994)

5月は赤十字月間「人間を救うのは、人間だ」

日本赤十字社は、毎年5月の赤十字月間に「全国一斉赤十字社員増強運動」を展開し、赤十字社員への加入を推進しています。

みなさんより寄せられた社資は、国内外での災害救助事業や福祉増進等の貴重な資金となります。

ご理解、ご協力をお願いします。

日本赤十字山口市地区(市社会課 ☎083・934・2790)、各総合支所総合サービス課、日本

赤十字社山口県支部(☎083・922・0102)

市民農園の利用者を募集します

市民農園での農業体験を通じて、自然の恵みを感じてみませんか。



農園の設備や利用条件等、詳しくはお問い合わせください。

■期間 5月〜平成24年2月(1年で更新可)

■場所・面積・募集区画数

・めくもりの里農園(新設下小鯖) : 約30㎡/4区画
 ・藤尾農園(深溝) : 約30㎡/4区画
 ・年間利用料 3000円

■対象 市内に住民登録がある方

■申込 5月13日(金・必着)までに、〒住所、氏名、電話番号、希望する農園名を明記の上、市農業振興課(☎083・934・2809)

☎083・934・2605-1
 ✉n-sinko@city.yamaguchi.jp

両施設を、こどもの日〈5月5日（木・祝）〉、国際博物館ウィーク〈5月17日（火）～22日（日）〉に無料開放します。
なお、市歴史民俗資料館は、5月9日（月）、10日（火）は、展示替えのため休館します。

環境に配慮したイベント の開催を応援します

市では、行事・催し物等のイベントにおいて、参加者と協力して環境への負荷を軽減し、広く市民の環境意識の向上に資するイベントを行う団体に対し、事業補助金を交付します。詳しくは、お問い合わせください。

対象 山口市内を活動の本拠とする民間団体（児童または生徒を主体とする団体は除く）

補助対象事業 市内で開催され、誰もが参加でき、外部の来場者数がおおむね1000人以上を予定し、平成24年3月31日までに実施・完了するイベント

※実施に当たっては、必ず取り組みなければならない環境配慮項目有（詳細は市ウェブサイト「表紙参照」に掲載）

交付金額 交付対象経費の3分の1以内（1件当たり上限10万円）

申請 5月22日（月）～6月22日（木）の間に、直接、市環境保全課（大内御堀496 ☎ 083・941・2181）

「緑のカーテン設置 講習会」参加者募集

夏の日差しを和らげ、室温の上昇を抑え、見た目も涼しそうな緑のカーテ

ンの設置・育て方を講座で学び、エアコンなどの電気使用量の削減を実践してみよう。

日時 5月26日（木）14時～15時30分

場所 湯田地域交流センター

講師 深田三夫氏（山口大学農学部教授）

対象 市民・事業者30人（先着順要申込）

申請 5月16日（月）15時までに
電話、FAXで、市環境保全課
（☎ 083・941・2181 FAX
083・927・1530）

ビジネス連携支援補助 金のご案内

異業種、農工商、産学連携等による商品の開発、販路の開拓に掛かる費用の一部を補助します。交付に当たっては、事業の独創性や発展性により審査します。詳しくは、お問い合わせください。

※制度内容や申請様式等は、市ウェブサイト（表紙参照）にも掲載

対象事業者 市内に主たる事務所を有する中小企業者、市内に生産の拠点を有する農林漁業者

補助対象事業 研究開発事業・新商品の開発を実施する事業／販路開拓事業・連携により開発された新商品の販路を開拓する事業

補助額 補助率3分の2：限度額100万円／補助率2分の1：限度額

額50万円
※審査の評価により決定します
申請 5月22日（月）～6月1日（水）までの間に、市商工振興課（山口総合支所 ☎ 083・934・2812 FAX 083・934・2650）

✉ shoko@city.yamaguchi.lg.jp

映画を2回観る会 Vol.1 1 短編アニメーション

【映画について、いっぱい話そう、もう1回観てみよう】

映画を観て、それについて話をして、もう一度同じ作品を鑑賞する、親子から映画好きまで幅広く、気軽に楽しめるワークショップスタイルの映画鑑賞会です。

わくわくしたり、感動したり、言葉にならないような感想を「どうして?」「なんで?」と考えて、もう一度同じ映画を見てみると、そこには「作品」のより深い楽しみ方と魅力が待っています。

第1回目のテーマはアニメーション。東欧やカナダの珠玉のアニメーションや日本の歴史的代表作を紹介します。



「おとぎ話」監督：プリート・バルン（1984年／エストニア）

日時 5月8日（日）13時30分～15時30分

上映作品 「プロジェクト」「ストリート・ミュージック」「おとぎ話」「幽霊船」「黒いヤ」

参加料 一般300円／エニー会員・特別割引200円

対象 4歳以上100人（先着順要申込）

所申込 ハガキ、FAX、Eメールで、住所、氏名（ふりがな）、性別、生年月日、電話番号、連絡先を明記の上、山口情報芸術センター（〒753・0075中園町7・7 ☎ 083・901・2222 FAX 083・901・2216）

阿知須「いぐらの館」 なまこ壁・漆喰ぬり体験

いぐら造りの建屋の特徴である「なまこ壁」の、専門家による模擬製作の工程を見学してみませんか。見学後には、壁に使用される方形瓦に、参加者が考案した図案をコテを使って漆喰で造形する体験もできます。（無料要申込）



前回の様子

日時 5月7日（土）13時～16時
所申込 5月6日（金）までに、阿知須「いぐらの館」（阿知須3425 ☎ 0836・65・2403）

GO!2011

おいでませ!山口国体
おいでませ!山口大会



ちよるる通信

■問い合わせ 市国体推進局総務企画課 (市実行委員会事務局 ☎ 083-984-8121)

■ <http://www.choruru.net/> ■ kokutai@city.yamaguchi.lg.jp

■記事に関するご意見・ご要望をぜひお寄せください。

大会マスコットキャラクターの「ちよるる」です。今月は、全国から来られるみなさんの受入態勢や、山口大会を紹介します。



「両大会は山口の魅力を発信する最大のチャンス」と語る、同組合理事長 宮川力さん

両大会の来場者に限らず、お客様をおもてなしする上で、最も重要なのが

接遇マナーのさらなる向上を目指して

また、両大会の開催期間中、みなさんを万全の態勢でお迎えするため、宿泊関係の衛生講習会の受講はもちろん、料飲・弁当関係者のみなさんとも協力して、湯田地域全体として衛生面での対策に取り組んでいきたいと思っています。



手すりの付いた浴室

バリアフリー化・衛生面の整備

本市では、山口国体・山口大会の両大会で正式競技16競技を開催することから、全国からの選手・監督等の参加者数を、山口国体で約7000人(9月の会期前開催を含む)、山口大会で約3000人と見込んでいます。今回は、市内各地で準備が進む受入態勢のうち、本市最大の宿泊拠点湯田温泉で、東日本大震災で被災されたみなさんに元気を届けるためにも両大会を成功させようという意気込み、湯田温泉旅館協同組合の宮川さん、瀧下さんにお話を伺いました。

「万全の態勢で試合に臨めるように」
選手のみなさんを迎える受入態勢を紹介します

湯田温泉の魅力は、なんと言っても「温泉」です。源泉温度72度の無色透明で疲労回復にも効果がある上質な湯が、選手の疲れを癒やし、リフレッシュにつながれば嬉しいですね。5力所ある足湯や、昨年完成した「温泉のビジュアル化」がテーマの源泉のわき出る様子を目で見るのが可能な「温泉舎」

温泉で疲れを癒やしリフレッシュを

山口に対して好印象を持ってもらい、再訪につなげるためにも、輸送関係者や飲食関係者、地域のみなさんも含めた湯田全体としての「おもてなしの心」を大切にしていきたいです。

接遇マナーです。宿泊施設では、2月に接客の心得である苦情対応の講習会を開催し、接客態度のさらなる向上を図りました。今後も講習会を9月までに数回実施する予定です。



AEDを手に「選手のみなさんが万全の態勢で両大会に臨めるようサポートしたい」と、同組合の瀧下尚子さん

など、入浴以外でも温泉を楽しんでいるただけの施設がたくさんあります。市民のみなさんも湯田温泉の魅力を感じ、全国からの来場者に一緒にPRしていただけると心強いです。本番に向けて、一緒に盛り上げていきましょう!



【温泉舎 (ゆのや)】

■場所 湯田温泉4丁目4番

■問い合わせ 湯田温泉観光案内所
(☎ 083-901-0150)

教えて!ちよるる ~宿泊・輸送編~

Q. 選手の宿泊先はどうやって決まるの?

A. 各自の予約ではなく、県・市実行委員会が合同で設置する「配宿センター」が、競技会場や競技特性を踏まえて宿泊先を決定します。

Q. 宿泊施設から会場までの輸送はどうなるの?

A. チームごとの移動用バスをはじめ、国体用臨時定期発着バス、タクシーの活用等を計画しています。
※ 観客のみなさんにも、維新百年記念公園などの駐車場確保が難しい競技会場については、自家用車以外での来場をお願いする場合があります。



「おいでませ！山口大会」市内開催4競技を紹介します

おいでませ！山口大会 とは



正式名称は「第11回全国障害者スポーツ大会」で、平成13年に宮城県で第1回大会が開催されました。以後、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックのように、国体終了後に3日間の会期で毎年開催されています。

●陸上競技

車いすの操作を競う「スラローム」、やり投げの規則に準じ、ターボジャブという用具を投げる「ジャベリックスロー」、大豆等を入れた袋を投げる「ビーンバッグ投」など、障害者スポーツ特有の種目を含め、全15種目が行われます。

●卓球

県障害者卓球協会理事長 大平悟さん(千葉大会金メダル獲得)に、全国障害者スポーツ大会の卓球ルールや応援方法を伺いました。



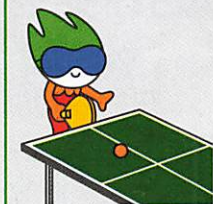
卓球競技には、身体に障害のある人や知的に障害のある人が参加する「一般卓球」と、視覚に障害のある人が出場する「サウンドテーブルテニス(STT)」があります。

「一般卓球」では、車いすの人の対戦でサービスの方法などに特別のルールがある以外は、通常の卓球とほぼ同じルールです。

出場する選手が全員金メダルを目指して戦いますので、山口大会本番では、のぼりや横断幕、スティックバルーンなども使って、派手に応援してくださいね。

サウンドテーブルテニス(STT)とは・・・

視力が0～0.03までの人が競技するスポーツで、金属球の入ったボールを転がし、転がる音を頼りに、ラバーを張っていないラケットでネットの下を通して打ち合うもので、視力によるハンデを解消するため、競技中はアイマスクを着用します。



●水泳

一般の競泳ルールに準じて行われていますが、視覚に障害のある選手の場合は、ゴールタッチやターンの際にアシスタントが合図棒で体をたたいて、壁があることを知らせるなど、障害の種類や程度に応じて競技方法が工夫されています。

●フライングディスク

「frisbee」の名称で知られる円盤(フライングディスク)を投げて行う競技です。ディスクを10回投げて、円形の標的の内側を通過した枚数を競う「アキュラシー」と、3回投げて飛距離を競う「ディスタンス」の2種目があります。

有力選手インタビュー



○卓球競技の魅力

ラケット、ボールと卓球台、そして卓球に対する熱い思いさえあれば、車いすの人でも誰とでも、同じテーブルの上で対戦できるのが魅力ですね。

○今年の目標

昨年は初めてコストリ力で開催された国際卓球選手権に出場しました。今年は、来年のロンドンパラリンピックを目指し、卓球の本場中国を含む国際大会に3回出場する予定です。自分の力を試す意味でも、世界の強豪選手との試合を楽しみにしています。

○山口大会に向けて一言！

もちろん金メダルが目標です。せっかくの地元開催ですので、ぜひこの機会に多くの方に障害者大会の卓球を見て欲しいですね。みなさんの声援が、選手の一歩の力になります。よろしくお願いします！

たにぐちひでお 谷口英雄選手



小学校から卓球をはじめ、18歳のときの交通事故で左手が不自由に。その後、大平さん(左上参照)の紹介で障害者競技の卓球を始める。最初の数年は全く勝てなかったが、勝ちたい一心で練習を重ねた結果、数々の大会で上位進出を果たし、千葉大会で金メダル獲得。第31回ジャパン・オープン肢体不自由者卓球選手権神戸大会でも準優勝

リハーサル大会を開催します

山口国体・山口大会の開催まで、残すところ約5カ月。リハーサル大会は、本番さながらの気合いの入った選手のプレーを間近に見ることのできる機会です。ぜひ会場に足を運んで、選手みなさんに熱い声援を送りましょう！

おいでませ！山口大会 開催競技

第11回キラリンピック
(陸上・水泳・フライングディスク)
○期日 5月22日(日)
○場所 維新百年記念公園陸上競技場(陸上)／山口きらら博記念公園(水泳…水泳プール／フライングディスク…サッカーラグビー場)

第11回全国障害者スポーツ大会派遣選手選考会(卓球)
○期日 5月22日(日)
○場所 山口県スポーツ文化センター
※10月の山口大会出場選手の選考会を兼ねています。

おいでませ！山口国体 開催競技

山口県陸上競技選手権大会(陸上)
○期日 5月3日(火)～4日(水)
○場所 維新百年記念公園陸上競技場
リード・ジャパンカップ(山岳)
○期日 6月4日(土)～5日(日)
○場所 山口県セミナーパーククライミング場

イベントカレンダー



※開催場所・時間など、詳細はお問い合わせください。

開催日 (曜日)	イベント名 (開催地域) 問い合わせ先 (電話番号)				
				20 (金)	阿知須「いぐらの館」 和紙ちぎり絵・押し花展 (~24日) (阿知須) 阿知須「いぐらの館」 (☎0836-65-2403)
	真鍋大度+石橋素「particles」 (~5日) (白石) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)	3 (火・祝)	ゴールデンウィーク祭り (~5日) (仁保) 道の駅仁保の郷 (☎083-929-0480)		
	「殿様の小姓が見た明治維新」 (~8日) (大殿) 市歴史民俗資料館 (☎083-924-7001)		おいでませ! 山口国体リハー サル大会 第38回山口県陸上競技選手 権大会(~4日) (吉敷) 市国体推進局総務企画課 (☎083-984-8121)	22 (日)	おいでませ! 山口大会リハー サル大会 第11回キラリンピック (陸上・水泳・フライングディ スク) 第11回全国障害者スポーツ 大会派遣選手選考会(卓球) (吉敷・阿知須) 市国体推進局総務企画課 (☎083-984-8121)
		5 (木・祝)	第38回青空天国 いこいの広場 (吉敷) 実行委員会 (☎083-922-7646)		平川典俊新作インスタレー ション「Beyond the sunbeam through trees -木漏れ日の向こうに」 (白石) 山口情報芸術センター (☎083-901-2222)
	ゴールデンウィーク新緑まつり (~8日) (徳地) 重源の郷 (☎0835-52-1250)	12 (木)	子どもの日 施設無料開放 (白石・鑄銭司・湯田) 市歴史民俗資料館 (☎083-924-7001) 鑄銭司郷土館 (☎083-986-2368) ※上記2館は5/17(火)~22(日) も無料 中原中也記念館 (☎083-932-6430)	28 (土)	ほたる観賞 Week!(~5日) (大殿) 市観光課 (☎083-934-2810)
	おごおり紙芝居原画展 -林勇蔵物語&其中庵物語- (~15日) (小郡) 市小郡文化資料館 (☎083-973-7071)		菜香亭市民ギャラリー 写真展 秋穂から発信「美しい富士山」 (~15日) (大殿) 市菜香亭 (☎083-934-3312)		
	企画展「宮嶋康彦-中原中也に 訣別 白と黒の振幅の果てに」 (~8月28日) (湯田) 中原中也記念館 (☎083-932-6430)	15 (日)	お田植まつり (阿東) 山口県中央商工会阿東支所 (☎083-956-0032)	29 (日)	やまぐち森林づくりフェスタ (阿知須) 県森林企画課 (☎083-933-3460)
					

被災地への救援物資ご提供への お礼とご報告

東日本大震災に際し、4月8日までの間、
救援物資の提供をお願いしましたところ、
市民のみならず心温まる多くの物資を
提供いただきました。心よりお礼申し上げ
ます。

本市といたしましても被災地に寄附金
を送りし、現地と調整しながら職員を派遣
するなど継続して支援活動に取り組んでお
ります。

日本赤十字社を通じた義援金は9月末ま
で受け付けております。被災地の1日も早
い復興にむけて、引き続きご協力いただき
ますようお願い申し上げます。

山口市長 渡辺 純忠

表紙写真から
薫風をうけて悠々と
仁保川のこいのぼり

表紙の写真は、道の駅「仁保の郷」近くを流
れる仁保川に揚げられたこいのぼりの様子です。
仁保地区青少年健全育成協議会が、家庭で使
われなくなったこいのぼりをもらい受け、例年
この時期に、地元子ども会や仁保むらづくり塾
等のみなさんと一緒に河原を清掃して、5月5
日までの間、約100匹のこいのぼりを掲げて、
行き交う人々の目を楽しませています。

撮影した4月5日は初夏を思わせる晴天で、
春風にたなびくこいのぼりの姿に、足をとめて
見入ったり、カメラを持って写真を撮ったりす
る方々に出会いました。仁保地区青少年健全育
成協議会の田中会長は「今年は、こいのぼりの
元気を東日本大震災の被災地に送りたいとい
う気持ちも込めました。」と言っていました。

■問い合わせ 仁保地域交流センター
(☎0833-626-0105)

この広報紙は再生紙を使用しています。
使い終わったら、「新聞紙」として
古紙類の分別収集に出しましょう。

市報やまぐち 5月1日号

発行 山口市 〒753-8650 山口市亀山町2-1

編集 総合政策部広報広聴課 ☎083-934-2753 / 印刷 株式会社マルニ